第41回「小さな親切」はがきキャンペーン

こころのエッセイコンテスト

“あのときは ありがとう”。
心にほんわか灯がともる、そんな瞬間がきっと誰にでもあるはず。
ふとした出会いや何げない一言など、
胸の奥底にしまったままの思い出をエッセイにしてみませんか。
当時の情景とともに、伝えたい想いをしたためた
あなたの体験エピソードをぜひお寄せください。
応募作品は書籍に収録され、読者に届けられることも。

テーマ
あのときは ありがとう

対象 高校生以上
（高校生と同じ年齢のもの含む）

しめきり 2025年
9月3日（水）〈必着〉

表彰式 2025年11月28日（金）
全国表彰式席上

あなたの作品が
出版物に
収録されるかも!?

入賞・入選作品は、
ラジオで
朗読されるチャンスも
あります!

主催：公益社団法人「小さな親切」運動本部　後援：日本郵便株式会社／読売新聞社　協賛：株式会社河出書房新社

第41回「小さな親切」はがきキャンペーン

こころのエッセイコンテスト

応募方法

実体験とタイトル、住所・氏名（ふりがな）・年齢・職業または学校名・電話番号を明記の上、下記方法でご応募ください。

はがきから

文字数は、はがき1枚に収まる程度（手書きでなくても可）。応募は郵送、テーマ、氏名等は文字数に含みません。

メールまたはフォームから

専用メールアドレスまたは、「小さな親切」運動本部WEBサイト内応募フォームから応募。文字数は600字以内（はがき1枚相当）。

送り先

公益社団法人「小さな親切」運動本部
はがきキャンペーン係
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-20-4
TEL：03-3263-2866　FAX：03-3263-3838

メールアドレス　hagaki-oubo@kindness.jp
WEBサイト　https://www.kindness.jp/

賞

大賞……1名
日本郵便賞……1名
読売新聞社賞……1名
河出書房新社賞……1名
審査員特別賞……1名
入選……20名

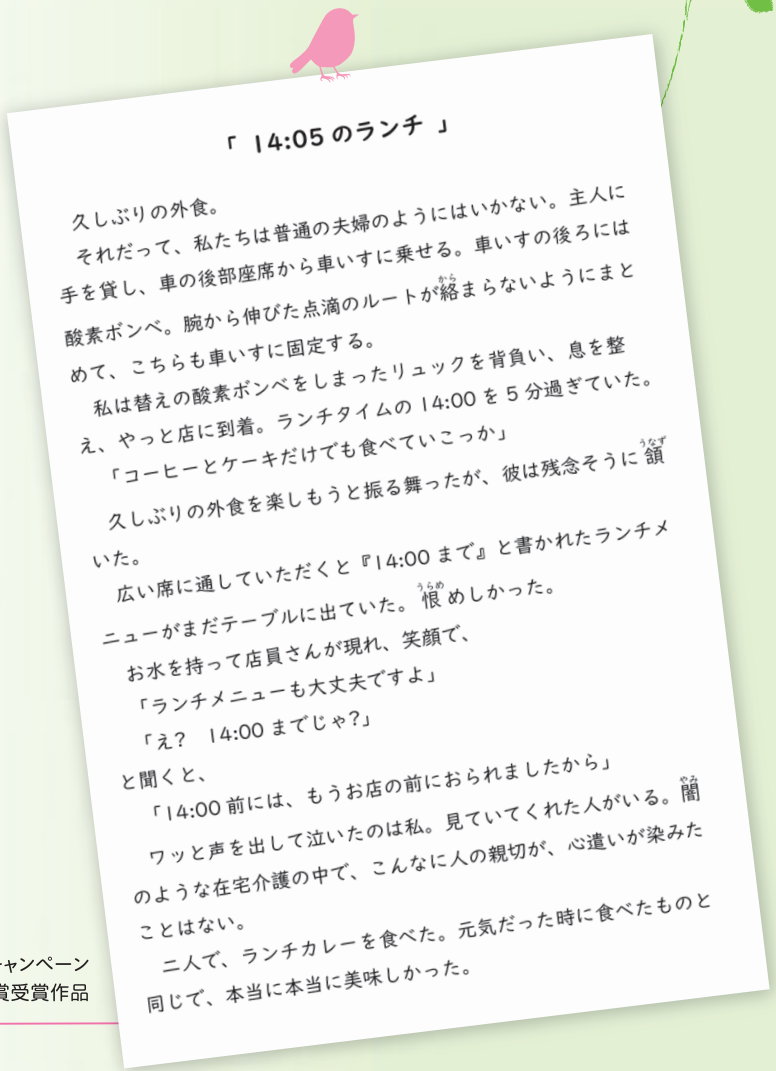
副賞

上位賞……切手・図書カードなど
入　選……図書カードなど

入賞発表

2025年11月上旬
読売新聞および情報誌『小さな親切』、「小さな親切」運動本部WEBサイト等で発表

※応募作品は自作・未発表のものに限ります。
※AI（人工知能）文書自動生成ツールでの作成、創作・盗作があった場合は、審査対象外となります。なお、審査後に上記が発覚、または本人がこれを認めた場合、入賞・入選を取り消します。
※学校等団体で取り組む場合は、可能な限り取りまとめて一括でご応募ください。難しい場合は、「団体応募」と分かるように所属を必ず明記してください。
※応募作品の所有権及び著作権は、公益社団法人「小さな親切」運動本部に属し、応募作品は返却いたしません。
※応募作品は当団体WEBサイト及び情報誌『小さな親切』等で紹介することがあり、その際作品のタイトル変更及び補作を行うことがあります。
※入賞・入選全作品は、本部発行の作品集に収録されます。
※選外作品も書籍発行時に作品収録の可能性があります。
※作品応募にあたってご提供いただきました個人情報は、コンテスト運営上必要な利用目的の範囲内（入賞者へのご連絡、賞状及び副賞の発送、新聞・WEBサイト・作品集における発表等）において利用いたします。



「 14:05 のランチ 」

久しぶりの外食。
それだって、私たちは普通の夫婦のようにはいかない。主人に手を貸し、車の後部座席から車いすに乗せる。車いすの後ろには酸素ボンベ。腕から伸びた点滴のルートが絡まらないようにまとめて、こちらも車いすに固定する。
私は替えの酸素ボンベをしまったリュックを背負い、息を整え、やっと店に到着。ランチタイムの 14:00 を 5 分過ぎていた。
「コーヒーとケーキだけでも食べていこっか」
久しぶりの外食を楽しもうと振る舞ったが、彼は残念そうに頷いた。
広い席に通していただくと『14:00 まで』と書かれたランチメニューがまだテーブルに出ていた。恨めしかった。
お水を持って店員さんが現れ、笑顔で、
「ランチメニューも大丈夫ですよ」
「え？　14:00 までじゃ？」
と聞くと、
「14:00 前には、もうお店の前におられましたから」
ワッと声を出して泣いたのは私。見ていてくれた人がいる。闇のような在宅介護の中で、こんなに人の親切が、心遣いが染みたことはない。
二人で、ランチカレーを食べた。元気だった時に食べたものと同じで、本当に本当に美味しかった。

第41回はがきキャンペーン
大賞受賞作品